

テーマ2 山下哲郎・田村雅紀・久田嘉章・西川豊宏（建築学部）

査読付き論文

1. 加藤研一, 久田嘉章, 石田 寛, 渡辺哲史, 鈴木文乃, 小鹿紀英, 東京臨海部を対象とした想定地震に基づく設計用地震動評価例, 日本建築学会技術報告集, Vol.23, No.53, p. 53-58, 2017.2
2. 米山嘉貴, 西川豊宏, スプリンクラ巻き出し配管の動的加力実験建築の非構造部材・建築設備の耐震補強と改修に関する研究 その2, 日本建築学会技術報告集, pp.189-193, 2017.2
3. 岡健太郎, 田村雅紀, 後藤治, 材料物性と下地仕様の観点からみた木摺り漆喰天井部材における基本性能と健全度評価に関する実験的検討, 日本建築学会構造系論文集, 第82巻, 第731号, 2017.1
4. 久田嘉章, レジリエンスな社会構築のための被害低減策と対応力向上策の現状と事例報告, 土木学会論文集 F6 (安全問題), Vol.72, No.2, p. I-1-1-14, 2016.11

国際学会論文 (査読付も含む)

1. Y.Hisada, K.Kasai, T.Yamashita, D. Du, W. Pu, K. Shirasaki, H. Aoki, M. Nakanishi, Damage Prediction And Retrofit Plan Using Dampers For A High-Rise Steel Building In Tokyo Based On Its Response Records, 16th World Conference on Earthquake Engineering, 2017.1
2. Y.Masuzawa, T.Kanai, Y.Hisada, T.Yamashita and S.Koizumi, Study on Aseismic Performance of Integrated Ceiling System and Anti-fall Measures of Ceiling, 16th World Conference on Earthquake Engineering, Santiago Chile, USB Memory, 2017.1
3. Y.Hisada, J.Kaneda, A.Teramoto, M.Murakami, Y.Masuzawa et.al., Strong Ground Motions And Damage Investigation Of Buildings In The Vicinity Of The Surface Faulting Of The 2016 Kumamoto Earthquake In Japan, 16th World Conference on Earthquake Engineering, 2017.1

学術雑誌、商業誌、研究機関への研究報告、展望、解説、論説など

1. 田村雅紀, Second International Conference on Concrete Sustainability (ICCS 16) in Madrid, Spain, コンクリート工学, Vol.54, No.11, pp1140-1141, 2016.11
2. 田村雅紀 建材への道のり, 第2回 石材編, 建材試験情報 Vol.52, pp30-33, 2016.11

招待講演

1. 久田嘉章, 首都圏で想定される地震被害とレジリエントな対策, 防災・減災セミナー2017, 防災ログ, 2017.3
2. 久田嘉章, 新宿駅周辺における地域連携による超高層建築の地震防災の取り組み, 第21回震災対策技術展, 2017.2
3. 久田嘉章, 被害地震から学ぶ長周期・長時間地震動と震源近傍の地震動, 第92回耐震構造研究会, 2016.12
4. 久田嘉章, 首都圏で想定される地震被害とレジリエントな対策シンポジウム, 「Design & BOSAI - 社会に貢献する人、まちのあり方-」, 社会貢献学会第7回大会, 2016.12
5. 久田嘉章, 断層近傍の強震動計算実習, 「強震動予測-その基礎と応用」第16回講習会, 日本地震学会, 2016.12
6. 久田嘉章, レジリエンスな社会構築のための被害低減策と対応力向上策の現状と事例報告, 土木学会安全問題討論会'16, 2016.11
7. 久田嘉章, 病院からの全患者避難: 経験から学ぶ「新宿駅周辺地域における大震災時の多数傷病者に関する地域連携による対応力向上の取り組み」, 災害医療フォーラム in Tokyo, 2016.11

口頭発表

1. 土田健太, 田村雅紀, 未利用地産資源を改良活用した無機系構造・仕上材料の開発, 2016年度日本建築学会関東支部研究報告集1, pp.217-220, 2017.3

2. 梅本真穂, 田村雅紀, 地域特性から見た景観構成要素となる地産壁土の色彩分布, 2016年度日本建築学会関東支部研究報告集1, pp. 73-76, 2017. 3
3. 梅原優, 田村雅紀, 窯業系サイディングの資源循環を可能にする再生材の研究, 2016年度日本建築学会関東支部研究報告集1, pp. 225-228, 2017. 3
4. 小野航太郎, 田村雅紀, 築27年経過した超高層ビルから採取したシーリング材の外部環境影響を踏まえた劣化度調査, 2016年度日本建築学会関東支部研究報告集1, pp. 261-264, 2017. 3
5. 村松凌, 田村雅紀, 天然鉱物含有型仕上塗材の熱的作用による劣化影響と苔植物の定着関係, 2016年度日本建築学会関東支部研究報告集1, pp. 229-232, 2017. 3
6. 中島駿介, 田村雅紀, 後藤治, 5年間の屋外暴露による外部影響を受けた柿葺き屋根の劣化指標提案, 2016年度日本建築学会関東支部研究報告集1, pp. 65-68, 2017. 3
7. 原田香葉, 田村雅紀, ガラスと仕上材を合わせた意匠化粧材の開発と視覚的印象評価, 2016年度日本建築学会関東支部研究報告集1, pp. 245-248, 2017. 3
8. 佐藤勇太, 田村雅紀, 既存コンクリート構造体の赤外線サーモグラフィ装置を用いたひび割れ深さ検出, 2016年度日本建築学会関東支部研究報告集1, pp. 5-8, 2017. 3
9. 岡健太郎, 田村雅紀, 後藤治, 建築物のLCMにおける維持保全と保存的活用ストラテジー その4 既存木摺漆喰天井の補修工法による岩手銀行旧本店本館への試験施工, 2016年度日本建築学会関東支部研究報告集1, pp. 53-56, 2017. 3

外部資金の獲得

1. 久田嘉章、文部科学省・科研費・基盤B一般／平成21～23年度／1,260千円、設計用入力地震動作成のための強震動予測手法の適用と検証(研究代表者)
2. 久田嘉章、科学技術振興機構・SIP、2014～2018年度、巨大都市・大規模ターミナル駅周辺地域における複合災害への対応支援アプリケーションの開発、研究代表者、20,678千円

各種メディア(新聞・テレビ・ラジオなど)・展示会等で公表

1. 久田嘉章, 防止の専門家が住む家に学ぶ, AERA, 2017. 3
2. 久田嘉章, 糸魚川火災の初期消火について, NHKシブ5時, 2016. 12
3. 久田嘉章, 糸魚川火災の初期消火について, NHKシブ5時, 2016. 12
4. 久田嘉章, 楽しいデザインで防災活動に取り組む, 建設通信新聞, 2016. 12

その他(報告会・シンポジウムの主催・共催など)